

「究極の暴力（戦争）に

私たちはどう立ち向かうのか」

世界各地で戦禍が続き、暴力と対立の連鎖がまだ絶たれていない現代において、平和の擁護と戦争への向き合い方が、あらためて問われている。すべての人々、国家、宗教、政治団体が「平和」を掲げながらも、現実には国益や権力、威信をめぐる対立が絶えず、多くの罪なき人々が暴力と犠牲の只中に置かれている。こうした状況は沈静化の兆しを見せず、人権の軽視と命の損なわれる現実が続いている。

本シリーズでは、このような現代社会の状況をふまえ、各国のソーシャルワーカー団体が平和の擁護や戦争という究極の暴力に対してどのように立ち向かっているのか、その理念と実践を検討する。さらに、ソーシャルワーカー個人が、専門職としていかに戦争・暴力・人権侵害の問題に向き合い、社会の中でどのように行動しているかについても議論を深めたい。

平和を希求するすべての人々が、社会的専門職としての責務と倫理を再確認し、今後の具体的な行動を考えるための学びと対話の場とすることを目指す。

2025 年 12 月 19 日（金）

19:00～21:00（開場 18:30）Zoom 配信（定員 120 名）

本協会会員 2,000 円 非会員 3,000 円 学生 1,000 円



【プログラム】

開会・趣旨説明

松永 千恵子 群馬医療福祉大学特任教授、本協会常任理事

登壇者

【韓国】 鄭 鍾和 氏 三育大学 教授

(チョン・ジョンファ, JEONG, JONG-HWA)

【米国】 菅野 花恵 氏 バルドスタ州立大学大学院 准教授

【日本】 保良 昌徳 氏 日本ソーシャルワーカー協会 会長

<ディスカッション及び質疑応答>

お申込み

申込み期日：12 月 18 日（木）

<https://social-worker20251219.peatix.com/view>



お問い合わせ



特定非営利活動法人

日本ソーシャルワーカー協会

TEL : 03-5913-8871 FAX : 03-5913-8872

Email : jasw@jasw.jp

後援（予定）：東京都社会福祉協議会、日本介護福祉士会、日本介護福祉士養成施設協会、日本ソーシャルワーカー連盟（日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会）、日本ソーシャルワーク教育学校連盟（順不同、法人格省略）

「究極の暴力（戦争）に私たちはどう立ち向かうのか」

登壇者紹介

1. 鄭 鍾和 氏 (チョン・ジョンファ, JEONG. JONG-HWA)

三育大学校 社会福祉学科 (社会福祉学博士) 教授

社団法人 韓国ボランティアフォーラム 理事

Rehabilitation International KOREA 社会サービス委員長

財団法人 韓国高齢者支援財団 理事 ほか



2. 菅野 花恵氏 (かんの はなえ)

バルドスタ州立大学大学院ソーシャルワーク修士プログラム
准教授 (社会福祉学博士)

2020 年米国バルドスタ州立大学から優秀教授賞(研究部門)を受賞。

著書に The Empowerment Model to Secondary Traumatic Stress (STS)

Prevention for Disaster Social Workers(分担執筆, Springer. 2022)ほか多数。



3. 保良 昌徳氏 (やすら しょうとく)

日本ソーシャルワーカー協会 会長 元沖縄国際大学 教授

特別養護老人ホーム おきなわ長寿苑施設長

